

会員と NPO 法人等とのプラットフォーム運営委員会

2020 年 12 月 23 日

議 案

1. 参加社数及び今後の実施施策等について
2. 改善結果のご報告について
3. 担当者会合の模様について

以 上



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

資料1

参加社数及び今後の実施施策等 について

2020年12月
日本証券業協会



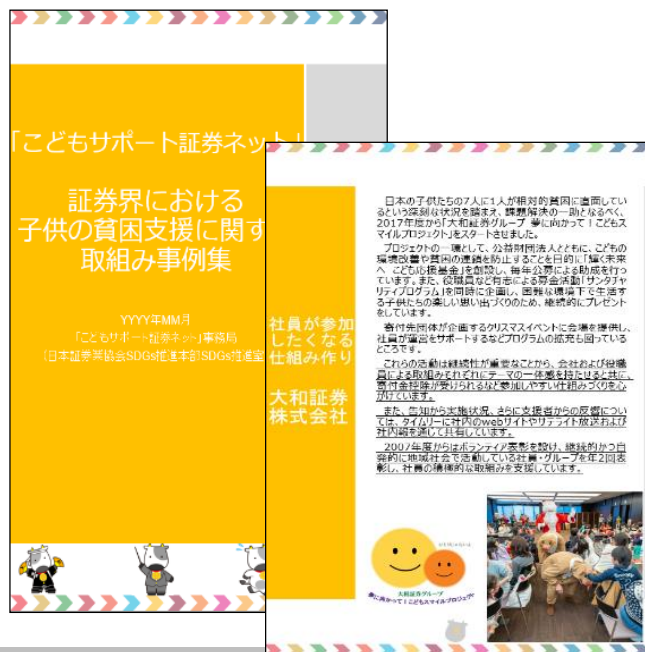
1. 参加社数及び広報活動について
2. 今後のNPO法人等の募集について
3. 今後の実施施策(場所の提供)
について

参加社数の推移について

2020年10月より、参加協力を働きかけた結果、参加社数は**29社→42社**に増加。
引き続き本取組みについて広く発信していくこととしたい。

周知活動の主な取組み

- ① 代表者向けに本取組みへの協力依頼メッセージを発信（会員通知）
- ② 地区協会を通じて、本取組みの紹介及び協力依頼
- ③ 本取組みに関わる事例集を本協会における様々な会議体等で配付
- ④ 実務担当者へ本取組みの説明及び協力依頼
- ⑤ 本取組みに関するメディアへの広報活動(日経ビジネス 2020年11月30日号)



所属地区	所属社数 ()内は前回数
北海道	2 (0)
東北	1 (1)
東京	27 (23)
名古屋	0 (0)
大阪	6 (4)
北陸	1 (0)
中国	1 (1)
四国	1 (0)
九州	3 (0)
合計	42 (29)

第5回運営委員会後、参加証券会社を増やすための施策についてアンケートを行ったところ、以下のとおりご意見をいただいたため、実施を検討することとしたい。

- 登録団体と参加証券会社とで1年間の報告会など意見交換の場を設け、参加検討中の証券会社やNPOに参加いただく
- 「物品」のみから始めたことで、優待品の受領がない社や、既に同様の取組みを行っている社が参加を見送ったのではないかと考えられるため、株主優待品寄贈以外の支援事例や参加証券会社同士の情報交換、NPO法人のニーズや提案を聞く機会等を設ける
- 物品を協会で預かり、手続きを代行する仕組みの構築により敷居を下げる

また、同アンケートにて、参加を検討する際に悩まれた点については以下のとおりご意見をいただいたため、現在、具体的な事務フローのマニュアルを作成している。

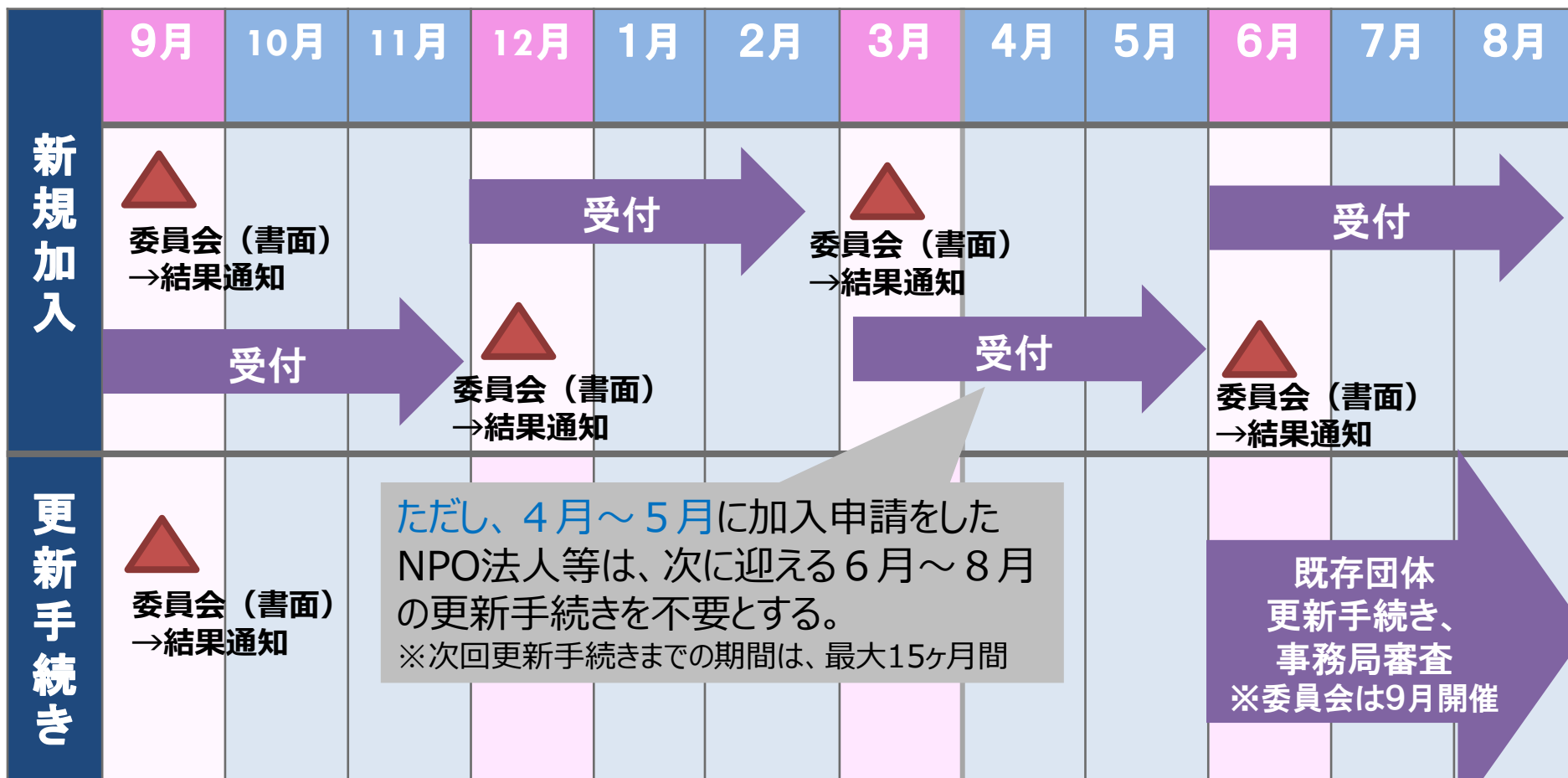
- 本取組みの具体的な事務フローのイメージが掴めなかったため、イメージ図のみではなく、具体的な手順がひとつひとつ説明されているマニュアルがあると分かりやすい
- 優待品を換金するフローが既に社内定まっており、本件に振替えるのはハードルが高かった

1. 参加社数及び広報活動について
- 2. 今後のNPO法人等の募集について**
3. 今後の実施施策(場所の提供)
について

- 本年9月に書面開催した第5回本委員会において、参加NPO法人等を、随時受け付けることについて意見を募ったところ、次のようなご意見・ご提案が寄せられた。
 - ◆ 新規募集を随時受け付けると、その都度運営委員会を開催し、参加の可否を問う必要があり、運用が煩雑になるおそれがある。
 - ◆ 四半期毎に「●月末までに参加申請のあったものにつき、原則として翌月末までに参加の可否を通知する」とすれば、審査の負担も大きくなりではないのではないか。
- 上記を踏まえ、協会ウェブサイト上に応募フォームを常設し、**四半期毎**（①12月～翌年2月、②3月～5月、③6月～8月、④9月～11月）に加入申請があった場合に限り、**原則として翌月（3月、6月、9月、12月）に本委員会を開催し、開催翌月末までにNPO法人等に対して加入の可否を通知すること**としたい。

NPO法人等の審査のスケジュールについて

四半期毎に 加入申請があった場合に限り、原則として翌月（3月、6月、9月、12月）に本委員会を開催し、開催翌月末までにNPO法人等に対して加入の可否を通知することとしたい。



1. 参加社数及び広報活動について
2. 今後のNPO法人等の募集について
- 3. 今後の実施施策(場所の提供)
について**

現在、物品支援のみを対象としているが、今後、「場所の提供（会議室等の貸出し）」や「ボランティア・プロボノ」等も段階的に検討することとしている。

→業界でも実績が少ないため、「場所の提供」について、まずは本協会にて試験的に会議室の貸出しを実施し、課題点等を洗い出したうえで、業界として実施していくこととしたい。

実施概要

- ✓ **開始時期**：事務局での運営体制が整い次第、状況に応じて順次開始
(終了時期は利用状況等により判断)
- ✓ **対象会議室**：日本証券業協会 1 2 階証券団体会議室・応接室
※会員も利用可能な施設のため、予約開始時期等は会員を優先
- ✓ **対象時間**：月～金 17時～21時 ※今後、状況に応じて拡大予定。
- ✓ **利用用途**：NPO法人等の活動継続に資する会合等

運用の検討に先立ち、2020年10月に参加NPO法人等32団体に対して、「新型コロナウイルス感染症を踏まえ、現在外部より場所を借りて運営をしているか」を含めた主に以下の事項につきアンケートを行い、日証協対象会議室を選定。

- ✓ 利用用途
- ✓ 希望する曜日・時間帯
- ✓ 収容規模
- ✓ 備品等の利用有無（希望する場合はどのような備品が必要か）
- ✓ その他、要望したい事

【ヒアリングの結果】

- ✓ 新型コロナウイルス感染症を踏まえ、
団体で保有する施設でのみ活動／対面での活動は中止している団体が大多数
- ✓ 官民連携の円卓会議からセミナーなど、**中規模（20名前後）**での利用を想定している団体が多い
- ✓ **平日夜（18時～22時）、土日10時～17時**の需要が多い
- ✓ 一部の団体から、**プロジェクター・スクリーン貸出しの要望**があった
- ✓ 途中で**自由に入退室**ができると便利との声が多かった

今後のスケジュール

施策等	2021年 1月	2月	3月	4月	5月	6月
場所の 提供	実施にあたり、詳細について 事務局にて検討			状況を鑑みながら、日証協 会議室の提供を開始予定 証券会社が実施する際の 課題等の洗い出しを行う		
参加NPO 審査	協会ウェブサイトにて新規NPO受付、四半期に一度事務局審査 →応募があった際には、委員会(原則、書面)を開催し、加入審査					
			委員会（書面）			委員会（書面）



JSDA

日本証券業協会

Japan Securities Dealers Association

資料2

改善結果のご報告について

2020年12月
日本証券業協会



これまで運営委員会及び参加者から寄せられたご意見を踏まえ、以下の事項につき改修を完了し、2020年11月、参加者に改修したフォーマットを配布し、現在運用している。

- ✓ 支援の種類の拡大、入力項目の見直し
・・・詳細については、次頁参照
- ✓ NPO→証券会社への検収書の返送作業の廃止
・・・メールまたは電話で到着を一報する
- ✓ NPOから日証協へ提出する支援報告体系の見直し
・・・報告書(Excelファイル)の提出→メールでの実施報告

● 支援の種類 (新規・修正項目赤字)

・ 物品の寄付(品目を統合し、対象範囲を拡大。)

- ①米、②乾麺・乾物・缶詰・調味料、③レトルト・**インスタント**食品、
④飲料・菓子、⑤**詰め合わせ(ギフトセット)**、⑥筆記具、
⑦日用品タオル、⑧**医療品**、 ⑨**玩具**、
⑩**各種チケット(商品券・クオカード・割引券等含む)**招待券、乗車チケット
⑪**オフィス家具・インテリア**

- ・ **場所の提供** ※情勢を踏まえ、2021年より日証協にて試験的に実施予定
詳細は、資料1 「3. 今後の実施施策(場所の提供)について(7頁～)」参照

- 費用の負担 : 直接受渡しを追加 (**送料負担削減のため**)
- 支援対象 : 入力必須項目⇒任意項目に修正
- 支援時期 : 項目削除



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association

資料3

担当者会合の模様について

2020年12月
日本証券業協会
SDGs推進室



目的	こどもサポート証券ネットに参加している担当者同士において、各社における課題や、子供の貧困問題解決に向けた取組みに関する知見を共有することで、子供の貧困問題解決に向けた意識の醸成を図る。
開催時期	2020年11月26日（木） 午後4時～5時
開催場所	会場、オンライン（Zoom）併用
参加者	こどもサポート証券ネット参加証券会社の担当者 17社22名のご参加（会場：10社11名、オンライン：8社11名）
プログラム	※参加者に事務局への質問・要望、意見交換したい事項につき事前アンケートを行い、プログラムを検討 - 事務局説明（支援実績、本年11月に改善を行った内容、今後の課題等） - 意見交換（各社の工夫している点、コロナ禍での子供の貧困支援等） - その他 ①事前アンケートで回答いただいた各社の子供の貧困問題解決に向けた取組みや、株主優待品の活用方法等について取りまとめた資料を配付 ②担当者同士のつながりを目的に、参加者リスト（連絡先等）を共有

当日の参加会社一覧（50音順）

藍澤證券
岩井コスモ証券
SMBC日興証券
岡三証券
岡三にいがた証券
岡安商事
証券ジャパン
大和証券グループ本社
立花証券
ちばぎん証券
中原証券
丸三証券
三菱UFJモルガン・スタンレー証券
みずほ証券
水戸証券
むさし証券
山和証券

当日配布資料

- ◎ 事務局説明資料
- ◎ 意見交換用資料（事前アンケートより抜粋）
- ◎ 事前アンケートで回答いただいた以下事項の
情報共有用資料
 - ①各社における子供の貧困問題解決に向けた
取組み
 - ②本取組み以外での株主優待品・災害備蓄品
の活用方法
 - ③こどもサポート証券ネットの支援方針
（現在支援している物品の選定方法等）、
工夫していること等



事前アンケートで寄せられた、こどもサポート証券ネットにかかる事務局への要望や質問等について、以下のとおり説明を行った。

【事務局への要望】

- 事務フローについて、具体的な手順が一つ一つ説明されているマニュアルがあるとよい。
→**手順書を作成することとしたい**
- 詰め合わせの株主優待品のような内容がバラバラの物は、各社まとめて支援団体へ送付できる仕組みがあればよい。
→**各社における小ロットの物品をまとめて送付できる仕組みを今後の課題としたい**
- エクセルベースでのやり取りではなく、データベース等のプラットフォームがあると利便性が高まる。
- 支援情報一覧に写真が掲載できるようにしてほしい。
→**中長期的なご意見として引き続き検討していきたい**

【事務局への質問】

- 脱退したNPO法人等から、参加時の連絡先を頼りに支援を受けたいと連絡があった場合、どのようにすればよいのか。
→**本取組みについては、NPO法人等と証券会社のつながりのきっかけになればよいと考えており、脱退したNPO法人等との支援を制限することは考えていないので、各社の判断でご支援いただきたい。**

事前アンケートで寄せられた意見交換をしたいテーマにつき、以下のとおり意見交換を行った。

- **取組みにおいて工夫していること、特に喜ばれた支援について**

- 能動的な活動では、全ての登録物品が成立しないので、NPO法人等から電話が来た際に残っている物品を一緒に提案していることや、加えて、お米の場合はハンバーグやカレーなどのおかずをセットで提案すると非常に喜ばれる事例が紹介された。
- NPO法人等からは、お米の場合、古いお米や精米日が書いていないものは避けたいという意見もあるため、精米日をなど詳しい情報を記載するとよい旨事務局より説明を行った。

- **物資を提供するNPO法人等の決定方法について**

- 公平性の観点から例外なく先着順で選定
- 特定のNPO法人等に偏らないよう、一定期間、複数団体からの応募を待って選定
- 営業所の所在地域で活動をしている団体を優先的に選定

- **送料の負担方法について**

- 社会貢献事業として、送料は証券会社負担で実施すべきか悩んでいるとの悩みに対し、送料をNPO法人等負担で行っている社より、トラブルやクレームはない旨の報告があった。

事前アンケートで寄せられた意見交換をしたいテーマにつき、以下のとおり意見交換を行った。

- **NPO法人等からのクレームについて**

→NPO法人から事務局あてにお米を頼んだら古い（1年以上前）ものだったと連絡いただいた事例を紹介。

トラブルを防ぐために、支援情報を登録する際に生産年や精米日、消費期限などの情報の入力を推奨した。

- **支援物品の管理方法に係る工夫について**

→なるべく在庫を抱え込まず、一度に引受けてもらうため、自社からの登録はせず、需要のありそうなNPO法人等に証券会社から連絡・交渉している事例が紹介された。

- **反社会的勢力の排除に関するNPO法人等への確認方法について**

→反社会的勢力の排除に関する確認方法について、他社がどのように行っているのか照会があったため、本会合会場でヒアリングしたところ、NPO法人等が加入申込み時に行う日証協の反社確認手続きをもって、確認済としている社が多数を占めた。

事前アンケートにて、こどもサポート証券ネットの取組みに限らず、コロナ禍での子供の貧困支援について意見交換したいというご意見が寄せられ、当日参加した証券会社で行われている、リモート環境下でもできる社会貢献活動について、以下のとおり情報共有を行った。

◆ 事業報告書の作成等のプロボノ・場所の提供

今まで関東近辺でしかできなかったが、リモートでも対応可能となり全国の社員が参画できるようになった。

◆ 地元のフードバンクと協定を結び、食品を中心として株主優待品を寄付

消費期限が迫っていても受け取っていただけるので、ありがたい。

◆ 地元の社会福祉法人が社会貢献の一環として行っている事業である衣類バンク（着ないうちにサイズアウトした新品、または新品同様の子供服や靴を集め、必要とする世帯にお届けする取組み）への協力。

事前アンケートにて、自社の子供の貧困問題解決に向けた取組みとして、以下の取組みをご回答いただいた。

- ◆ 売り上げの一部が寄付される『募金型自動販売機』を設置して子供の支援につながる募金を実施
- ◆ 家電製品や生活用品、防災用備蓄食品や株主優待品（おもちゃや食品等）を地域の子供の貧困問題解決に向けた取組みをしている団体へ寄付。
- ◆ 送付先不明等で返送された株主優待のお米を、日本赤十字社を通じて、児童養護施設へ寄贈

また、参加はしているが支援情報の登録等をしていない会社のこどもサポート証券ネットの活用方法についても以下のとおりご意見が寄せられた。

「こどもサポート証券ネットに参加しているNPO法人等は、日証協が定めた加入要件等の審査を通過していることから、自社で行う寄付活動、ボランティア活動を企画する際の支援先を検討する際のデータベースとして参考になっている。

会合終了後、会合の感想及び次回担当者向けの会合を開く場合のテーマについてアンケートを行ったところ、以下のご意見等が寄せられた。

感想、ご意見

- ・実務レベルでの他社の考え方・対応等がよくわかり、大変参考になる会でした。今後も定期的にこのような会があれば、全体としてレベルアップできるかと思います。
- ・議事進行についても、取組実績のある会社を指名していただき、ご配慮に感謝しております。
- ・人気のない商品は抱き合わせで提案する、品物の情報は詳細に記載する等、支援成立に繋げる工夫について、非常に参考になりました。
- ・費用負担の面で悩んでおりましたが、NPO法人負担でも数多くマッチングされている会社もあるようなので、他社の取組みを参考にしていきたいと考えています。
- ・弊社は優待品の提供に関する具体的な取り組みを実施するに至っていませんが、実施する際にこうすればよいとの具体的な意見が大変参考になりました。

次回開催時のテーマ

- ・引き続き、困っている点、工夫している点などを持ち寄り意見交換できる会合を希望。
- ・会社の規模により支援や課題に差があるので、会社の規模でグループ分けをしたうえで、他社の社会貢献活動・SDGs推進に関する取組みを聞いてみたい。
- ・社会貢献活動に熱心な中小企業で実施している取組みについてお聞きしたい。